

改定日2025/02

可搬式小型電動油圧ポンプ PE1700 シリーズ (AC200V 仕様)

INDEX

1. 安全にお使いいただくために ...	2
2. 各部名称	4
3. お使いになる前に	5
4. 運転（操作）	5
5. 保守	7
6. 回路図	10
7. パーツリスト	11
8. 故障診断表	22
9. 保証	23



このたびは、弊社の電動油圧ポンプをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ポンプを正しくお使い頂くために、必ずこの取扱説明書をご覧ください。
尚、このポンプは国内専用です。海外では使用できません。

1. 安全にお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書では3種類の絵表示を使用しています。その表示と意味は次の様になっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じる事が想定される内容を示しています。
---	--

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	--

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみが想定される内容を示しています。
--	---

設置時の注意



■安定よく設置して下さい。

不安定な場所や斜めの場所等には置かない様にして下さい。落下等により怪我の原因となります。

■作業環境を整えて下さい。

ポンプを使用する作業の周囲に、使用者が傷害及び危害を受ける可能性のある物（高温、火気、可動物体、鋭利な物、腐食物体等）は取り除いて下さい。

注意

■雨や湿気を避けて、なるべくホコリの少ない所でご使用下さい。

■夏季は直射日光を避けてご使用下さい。

油圧作動油の温度が上昇して、加工及び機器に支障を来す恐れがあります。

■極寒地での屋外使用の場合は、適正粘度の油圧作動油へ交換して下さい。

油圧作動油の温度低下により粘度が増し、加工及び機器に支障を来す恐れがあります。

使用時の注意

警告

■安全対策を行って下さい。

油圧機器を操作する時は保護具、作業服、安全眼鏡等で防護して下さい。

■回路の許容圧力に注意して下さい。

ポンプの最高許容使用圧力が、接続された他の油圧機器の許容圧力以下であり、且つ許容負荷以下であることを常に確認して作業して下さい。

■感電に注意して下さい。

濡れた手で電源プラグを抜かないで下さい。

使用時には必ず電源プラグのアースクリップでアースを取って下さい。

電気溶接機の側、又はアースされた材料や機材に置いて使用しないで下さい。

注意

■電源は AC200V (50/60Hz) 単相です。

間違った電圧で使用すると焼失や発熱の恐れがあります。

電圧が低下した状態で使用すると焼失や発熱の恐れがあります。特に発電機の使用時は電圧降下ににご注意下さい。

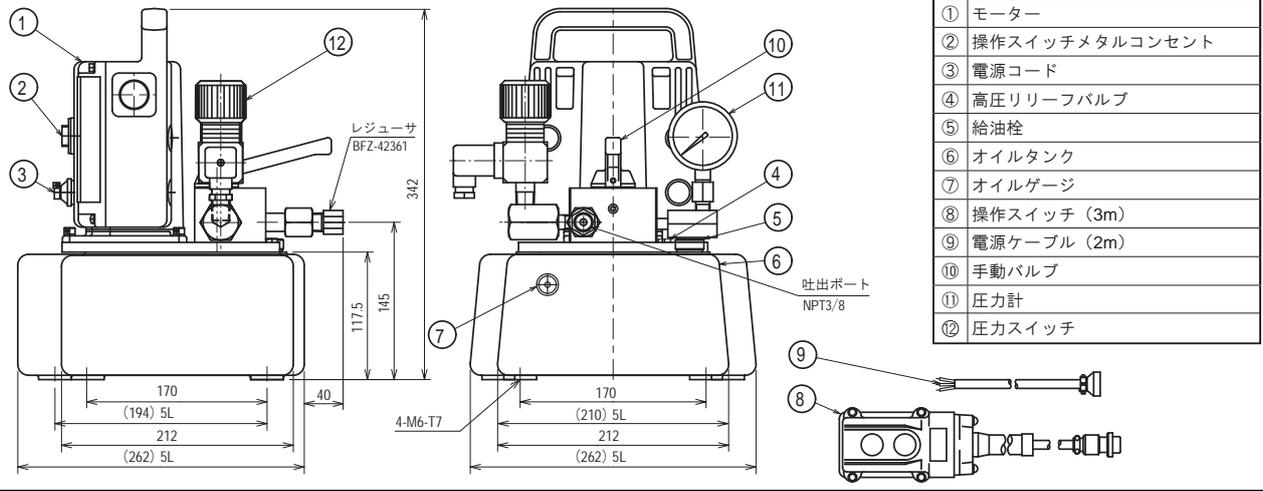
■コンセントから電源を抜く場合は、必ず電源プラグをつかんで抜いて下さい。

コードを引いてコンセントから抜いたりすると断線やショートの原因になります。

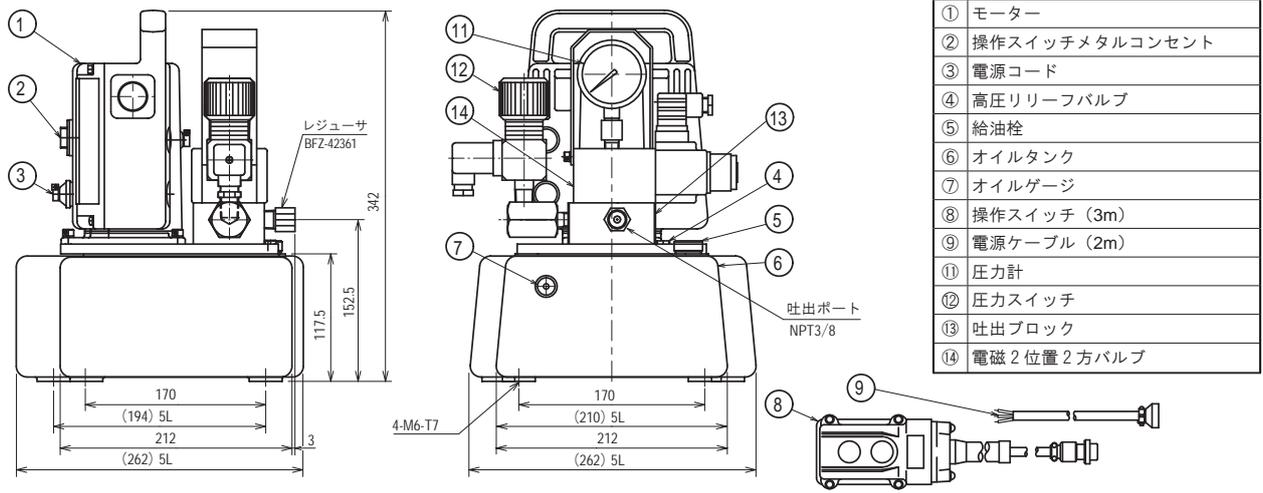
■補助コードを使用する場合には、電圧が降下しないように 1.25mm² 以上の太さのコードを使用し、また長さは 10m 以内でご使用下さい。

2. 各部名称

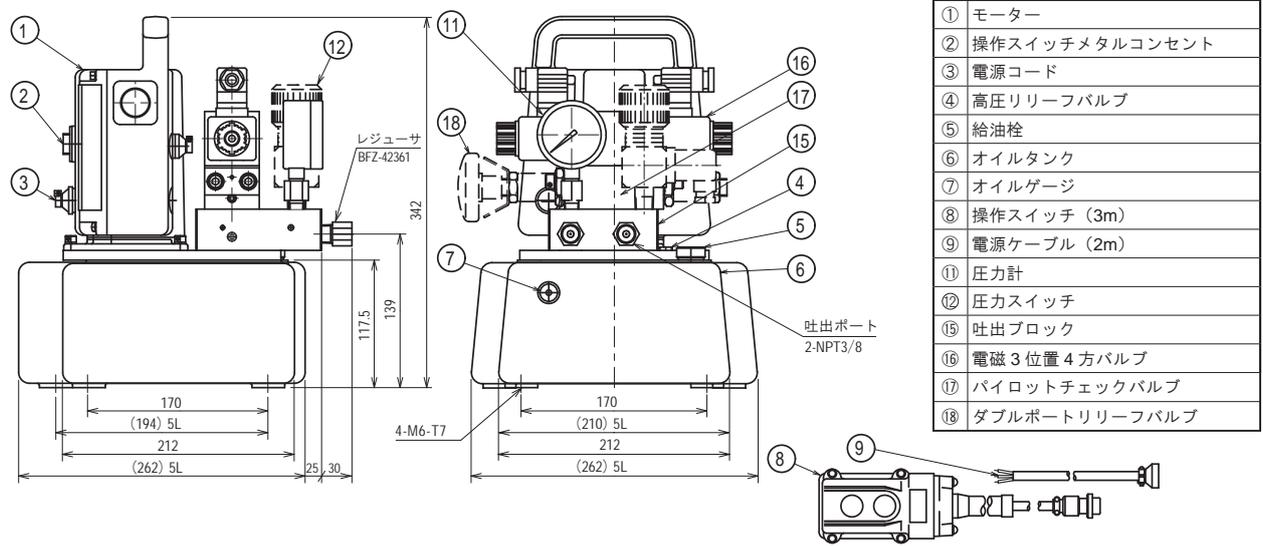
PE1700-VM2J-200V / VM-4J-200V



PE1700-HWOJ-200V / HWCJ-200V



PE1700-VD1J-200V / VDPJ-200V / VDRJ-200V / VDAJ-200V / VDOJ-200V



3. お使いになる前に

3-1) 商品の確認

輸送中の破損及び油漏れ等がないかお確かめ下さい。

3-2) 給油栓について 注意

輸送時は給油栓を密閉してありますので、ご使用の際には左に1～2回廻してタンク内外の空気が自由に流れるようにしてください。給油栓を密閉したままでご使用になりますと、吐出しなかったり、圧力が上がらない原因になります。

3-3) 電源の確認 警告

電源はAC200V（50/60Hz）単相です。使用時は必ずアースを取って下さい。

3-4) 作動油の確認 警告

油量の確認は以下の方法で行って下さい。

ポンプ内の油量は接続された機器のシリンダーが完全に戻った状態で、運転前に必ず確認して、常に適正な量でご使用下さい。接続された機器のシリンダーロッドが出ている時に給油した場合、シリンダー内のオイルの戻る所が無くなりオイルが溢れたり、タンクに高圧が発生して危険です。

- ①接続された機器のシリンダーを完全に戻して下さい。
- ②オイルゲージを確認し、ゲージ半分まで入っていれば正常です。減っていれば補充を行って下さい（使用する作動油の種類に関しては5-1）、油圧作動油の項を参照のこと）。

4. 運転（操作）

単動シリンダー用

PE1700-VM1J-200V

バルブは付属していません。吐出ブロックには吐出ポートと戻りポートがあり、操作スイッチのONを押すと、モーターが回転し吐出ポートから油を吐出します。

PE1700-VM2J-200V

手動2方弁により、単動シリンダーを作動させます。

手動弁のレバーをセンターから右に回転（45°で停止）し、操作スイッチのONを押すとモーターが回転しシリンダーが前進します。手動弁のレバーをセンターから左に回転（45°で停止）するとシリンダーが戻ります。

PE1700-HWOJ-200V

電磁弁により単動シリンダーを作動させます。

操作スイッチのONを押すと、モーターが回転しシリンダーが前進します。スイッチボタンを放すと、モーターとシリンダーが停止して圧力を保持します。操作スイッチのOFFを押すと、シリンダーが戻ります。

※操作スイッチのOFFを押している時のみシリンダーは戻ります。

PE1700-HWCJ-200V

電磁弁により単動シリンダーを作動させます。

操作スイッチのONを押すと、モーターが回転しシリンダーが前進します。スイッチボタンを放すと、モーターは停止してシリンダーが戻ります。

複動シリンダー用

PE1700-VM4J-200V

手動4方弁により複動シリンダーを作動させます。

手動弁のレバーをセンターから左に回転（45°で停止）し、操作スイッチのONを押すとモーターが回転しシリンダーが前進します。手動弁のレバーをセンターから右に回転（45°で停止）し、操作スイッチのONを押すとモーターが回転しシリンダーが戻ります。

PE1700-VD1J-200V / VDPJ-200V

電磁弁により複動シリンダーを作動させます。

操作スイッチのAを押すと、モーターが回転しシリンダーが前進します。スイッチボタンを放すと、モーターが停止します。操作スイッチのBを押すと、モーターが回転しシリンダーが戻ります。積層型シングルパイロットによりVDPJはAポートの圧力保持が可能です。VD1Jの場合は、A、Bポートの圧力保持が可能です。

PE1700-VDRJ-200V

電磁弁により複動シリンダーを作動させます。

操作スイッチのAを押すと、モーターが回転しシリンダーが前進します。スイッチボタンを放すと、モーターが停止します。操作スイッチのBを押すと、モーターが回転しシリンダーが戻ります。積層型ダブルリリーフ弁により、A、Bポートの圧力を調整することができます。尚、圧力保持はしません。ただし、積層型パイロットチェック弁を搭載することにより圧力保持が可能です。

PE1700-VDAJ-200V / VDOJ-200V

電磁弁により複動シリンダーを作動させます。

操作スイッチのAを押すと、モーターが回転しシリンダーが前進します。スイッチボタンを放すと、モーターが停止します。操作スイッチのBを押すと、モーターが回転しシリンダーが戻ります。VDAJはセンターAブロック型でシリンダー停止はできますが、圧力保持はできません。センターオープン型のVDOJもシリンダーの停止はできますが、圧力保持はできません。

5. 保守

5-1) 油圧作動油

①種類

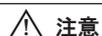
原則として、エナパック純正オイルをご使用下さい。急用の場合は上質のハイドロリックオイル（ISO規格 VG32 相当品 耐摩耗性油圧作動油）をご使用下さい。尚、これは消防法第 4 類第 4 石油類です。

エナパック純正オイル型式は HF-100（約1 l） HF-101（約4 l） HF-102（約19 l） から選んでください。

②温度

油圧作動油の適性使用温度は 55℃以下です。適正温度以上に油温が上昇した場合は適正温度に下がるまで作業を中止して下さい。

③交換



作動油は劣化しますので、定期的に全量入れ替えて下さい。交換時期については作動時間 300 時間、あるいは 3 ヶ月を目安にして下さい。交換する際は給油栓を外し、ポンプを斜めにして油を抜き、ゴミなどの不純物が入らない様に注意しながらオイルゲージ中間まで入れて下さい。

交換時の注意点は以下の 3 点です。

- シリンダが完全に戻った状態で行って下さい。
- 異種油はたとえ少量の補充であっても絶対に入れないで下さい。
- 給油の際、異物が混入しないように注意して下さい。

④その他



目にオイルが入った場合、清浄な水で十分洗い流して下さい。そして直ちに医師の診断を受けて下さい。傷口等の皮膚内にオイルが入った場合、石鹼水で洗い流し、止血後直ちに医師の診断を受けて下さい。

5-2) 圧力と配管

①油圧機器の構成



ポンプ・高圧ホース・シリンダー・カプラー・バルブ等を組合わせて油圧機器を構成する場合は、各機器の最高使用圧力を同じにして下さい。ひとつでも最高使用圧力の低いものを使用した場合は、システムの最高使用圧力はその中の 1 番低いものにポンプの圧力を合わせて下さい。

②圧力計

圧力を常にチェック出来るように圧力計を付けるか又は、すぐにセットできるようにして下さい。

③配管



管用テーパねじのホース配管又は各種バルブ及びカプラーの接続はシールテープを巻き、下表のテーパねじ締付トルク表を参考に、締めすぎに注意して行って下さい。

NPT, PT サイズ	締付トルク N-m (kgf・m)
1/8	13 - 14 (1.3 - 1.4)
1/4	30 - 40 (3.0 - 4.0)
3/8	60 - 70 (6.0 - 7.0)
1/2	100 - 110 (10.0 - 11.0)



テーパねじ部の付替えを行う場合、メスねじ内部の残存シールテープが、機器内や回路内に入らないように注意し完全に除去して下さい。又、外したオスねじ側も同様に取り除いて下さい。

5-3) 高圧ホース

①取付け



高圧ホースは加圧時に若干伸縮しますので、多少余裕を持って取付けて下さい。又、他の固い物体と擦れないように注意して下さい。

高圧ホースはクランプしないで下さい。高圧ホースは圧力が加わると固くまっすぐになろうと動きます。

特に曲げ部分でクランプすると加圧時に無理な力がかかり破損の原因になります。

高圧ホースは扱いが悪いと極端に寿命が短くなります。特に火気（高温）や、極端な曲げ、捻じれに弱いので、高温環境下や最少曲げ半径以下や捻じれたままで使用しないで下さい。

②取扱い



高圧ホースへの落下物は絶対に避けて下さい。落下物の衝撃は、高圧ホースの破裂の原因となり重大事故を招きます。

高圧ホースの近くで溶接等の火気及び高温物に接触しないようにして下さい。

高圧ホースを強い力で引っ張らないで下さい。高圧ホースでポンプ、シリンダー等を引きずったり持ち運んだりすると、高圧ホース破損の原因となり重大事故を招きます。

5-4) カプラ

①接続

接続前に、カプラの接続部にゴミ・砂等が付着していないことを確認して下さい。

接続後、高圧ホースを引っ張って接続を確認して下さい。

②取扱い



シリンダーを取り付けずに、高圧ホース先端にカプラをつけたまま加圧する事はやめて下さい。カプラが破損した場合、重大事故を招きます。やむを得ず作動確認などでカプラを取り外して加圧する時はカプラの飛び出す恐れのある方向を避けて作業して下さい。

カプラは加圧された状態のままで着脱をしないで下さい。

5-5) 空気の混入

新しいシリンダー又はホースを接続した場合や、作動油の交換時等、油が極端に少なくなった状態でポンプを作動した場合、ポンプ内に空気が混入して吐出しなくなったり、圧力低下を生じることがあります。この場合は、ポンプに負荷のかからない状態で2～3分間断続的に空運転すると空気は自動的に抜けて通常の状態に戻ります。

5-6) カーボンブラシについて

①使用上の注意

カーボンブラシが完全に摩耗するまで使ってしまった場合、カーボンブラシ内部よりピンが出て通電を止めますのでモーターが回転しなくなります。目安としては、モーターの作動時間が500時間以上になりましたら新品とお取り換え下さい。

カーボンブラシ部品の型式は **PE1700-BRUSH**（2個入り）です。

カーボンブラシの交換は、左右両方行って下さい。また、取り換

え作業時は電源プラグを必ずコンセントから抜いて行って下さい。

作業を行う前に、必要工具（マイナスドライバー）及び測定機器

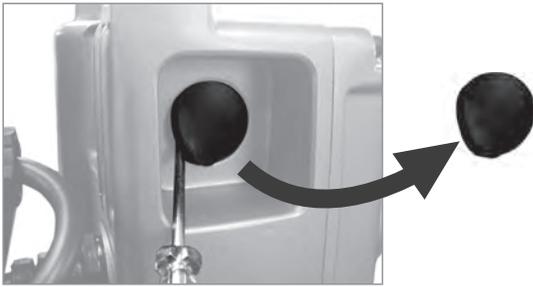
（圧力計・シリンダー等）を用意して下さい。工具及び測定機器が

ない場合は作業を行わないで下さい。

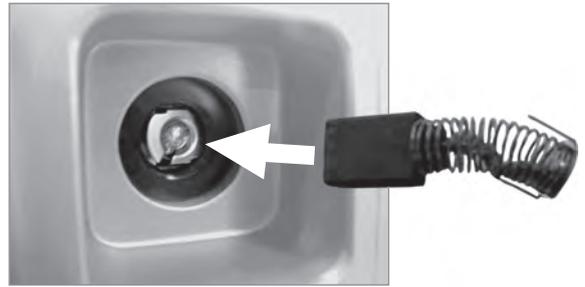


PE1700-BRUSH

②交換方法



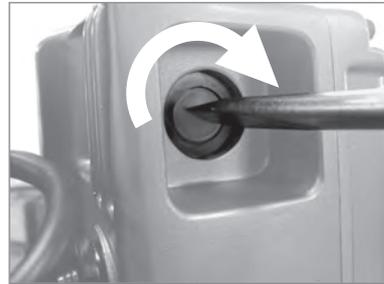
1 ゴムキャップを外してください。



4 新しいカーボンブラシを穴に挿入し、ねじ部の山を利用して奥に引っかかる様にしてください。



2 カーボンブラシ押えネジをマイナスドライバーで外してください。



5 ブラシ押えネジを締めてください。
ねじ込みに違和感がある場合はそのままねじ込まずもう一度外してください。



3 カーボンブラシを引き出してください。



6 ゴムキャップで蓋をしてください。

5-7) リリーフ設定について

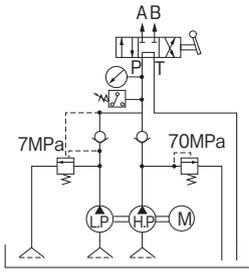
リリーフバルブのサイドロック（六角 M4）をゆるめ、リリーフネジを廻して設定圧力に調整して下さい。調整は右に廻すと圧力は上がり、左に廻すと圧力は下がります。但し、標準品は 40～70MPa の圧力範囲で調整が可能です。それ以下で使用する場合は、スプリング交換が必要となりますので、弊社へご相談下さい。

6. 回路図

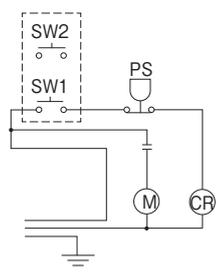
複動シリンダー用

PE1700-VM4J-200V

油圧回路図

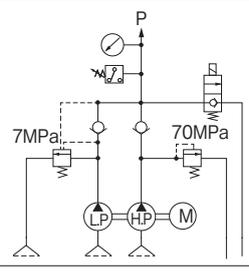


電気回路図

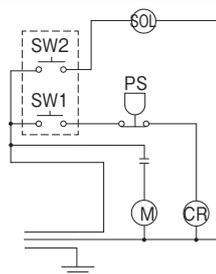


PE1700-HWOJ-200V

油圧回路図

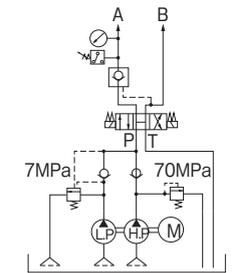


電気回路図

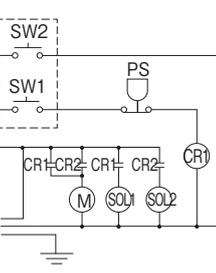


PE1700-VDPJ-200V

油圧回路図

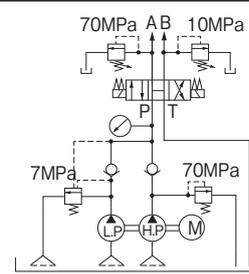


電気回路図

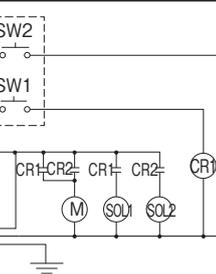


PE1700-VDRJ-200V

油圧回路図

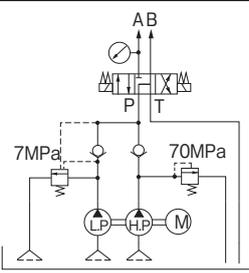


電気回路図

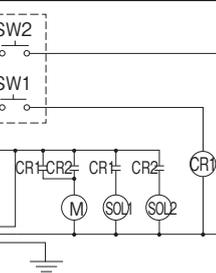


PE1700-VDAJ-200V

油圧回路図



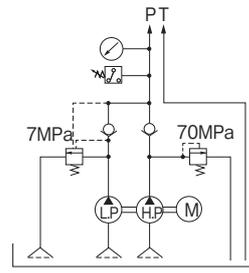
電気回路図



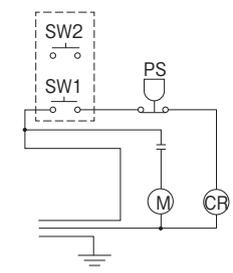
単動シリンダー用

PE1700-VM1J-200V

油圧回路図

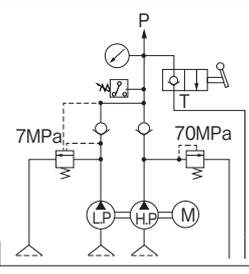


電気回路図

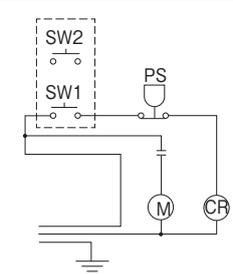


PE1700-VM2J-200V

油圧回路図

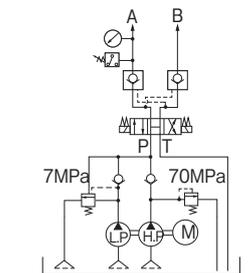


電気回路図

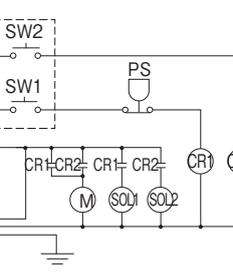


PE1700-VD1J-200V

油圧回路図

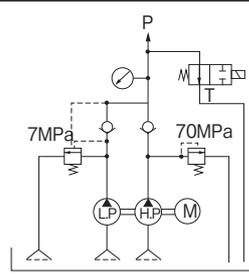


電気回路図

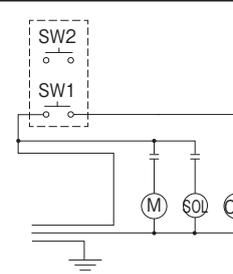


PE1700-HWCJ-200V

油圧回路図

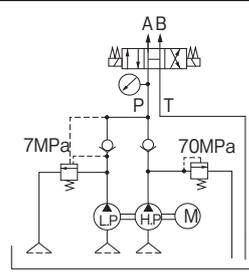


電気回路図

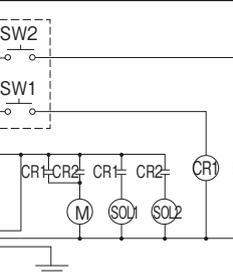


PE1700-VDOJ-200V

油圧回路図



電気回路図



※ 電気回路図には示していませんが、手元リモコンの電圧はトランスで12Vにダウンしてあります。

No.	部品番号	部品名
タンク部分		
5-1	1P50156	リザーバー (3ℓ)
5-2	KCM-20	オイルゲージ
5-3	G-140	Oリング
5-4	M6	スプリングワッシャ
5-5	M6×10	取付ボルト
5-6	4P54343	給油口プラグ
5-7	P-16	Oリング
5-8	PT3/8	ブラインドスクリュー
5-9	1P50165	リザーバー (5ℓ)
電気部分		
6-1		電源コード
6-2	SCK2003P	プラグソケット
6-3	COB61	ペンダントスイッチ
6-4		DC パワーサプライ
6-5		プリント基板アッセイ
6-6	M3×6	取付ボルト
PE1700-VM1J-200Vバルブ部分		
7-1	4P50621	バルブボディ
7-2	7-1	ゲージアダプター
7-3	φ63-100MPa	油圧計
7-4	PT1/4	ブラインドプラグ
7-5	M6×25	取付ボルト
7-6	M5×25	取付ボルト
7-7	P-8	Oリング
PE1700-VM2J-200Vバルブ部分		
7-1	4P51339	バルブボディ
7-2	7-1	ゲージアダプター
7-3	φ63-100MPa	油圧計
7-4	4P53322	ゲージニップル
7-5	PT1/8	ブラインドプラグ
7-6	PT1/4	ブラインドプラグ
7-7	φ1/4	スチールボール
7-8	UBD8-20	スプリング
7-9	SI-9	SI タイプリング
7-10	4P54057	プッシュスクリュー
7-11	φ2.5-13.8	ニードルローラー
7-12	P-11	Oリング
7-13	MS4-10	ポジショニングピン
7-14	WH5-10	スプリング
7-15	φ5	スチールボール
7-16	4P52065	ハンドル
7-17	M6×15	セットスクリュー

No.	部品番号	部品名
7-18	PT3/8	ニップル
7-19	P-11	Oリング
7-20	P-8	Oリング
7-21	M6×50	取付ボルト
7-22	M5×50	取付ボルト
7-23	4P53154	カラー
7-24	P-11	バックアップリング
PE1700-VM4J-200Vバルブ部分		
7-1	3P50802	マニホールド
7-2	7-1	ゲージアダプター
7-3	φ63-100MPa	油圧計
7-4	4P53322	ゲージニップル
7-5	PT1/4	ブラインドプラグ
7-6	PT1/8	ブラインドプラグ
7-7	M6×40	取付ボルト
7-8	M5×40	取付ボルト
7-9	P-8	Oリング
7-10	3P50974	バルブボディ
7-11	4P52063	バルブシート
7-12	P-6	Oリング
7-13	P-6	バックアップリング
7-14	WH8-15	スプリング
7-15	4P53644	ロータリーバルブ
7-16	φ5×20	固定ピン
7-17	NTB1528	スラストベアリング
7-18	AS1528	スラストワッシャ
7-19	4P52057	シャフト
7-20	P7	Oリング
7-21	4P53388	カバー
7-22	S-39	Oリング
7-23	MS4-10	ポジショニングピン
7-24	φ5	スチールボール
7-25	WH5-10	スプリング
7-26	4P52065	ハンドル
7-27	M6×15	セットスクリュー
7-28	M8×80	取付ボルト
7-29	M6×20	取付ボルト
7-30	P-7B	Oリング
7-31	4P52908	バックアップリング
7-32	P-9	Oリング

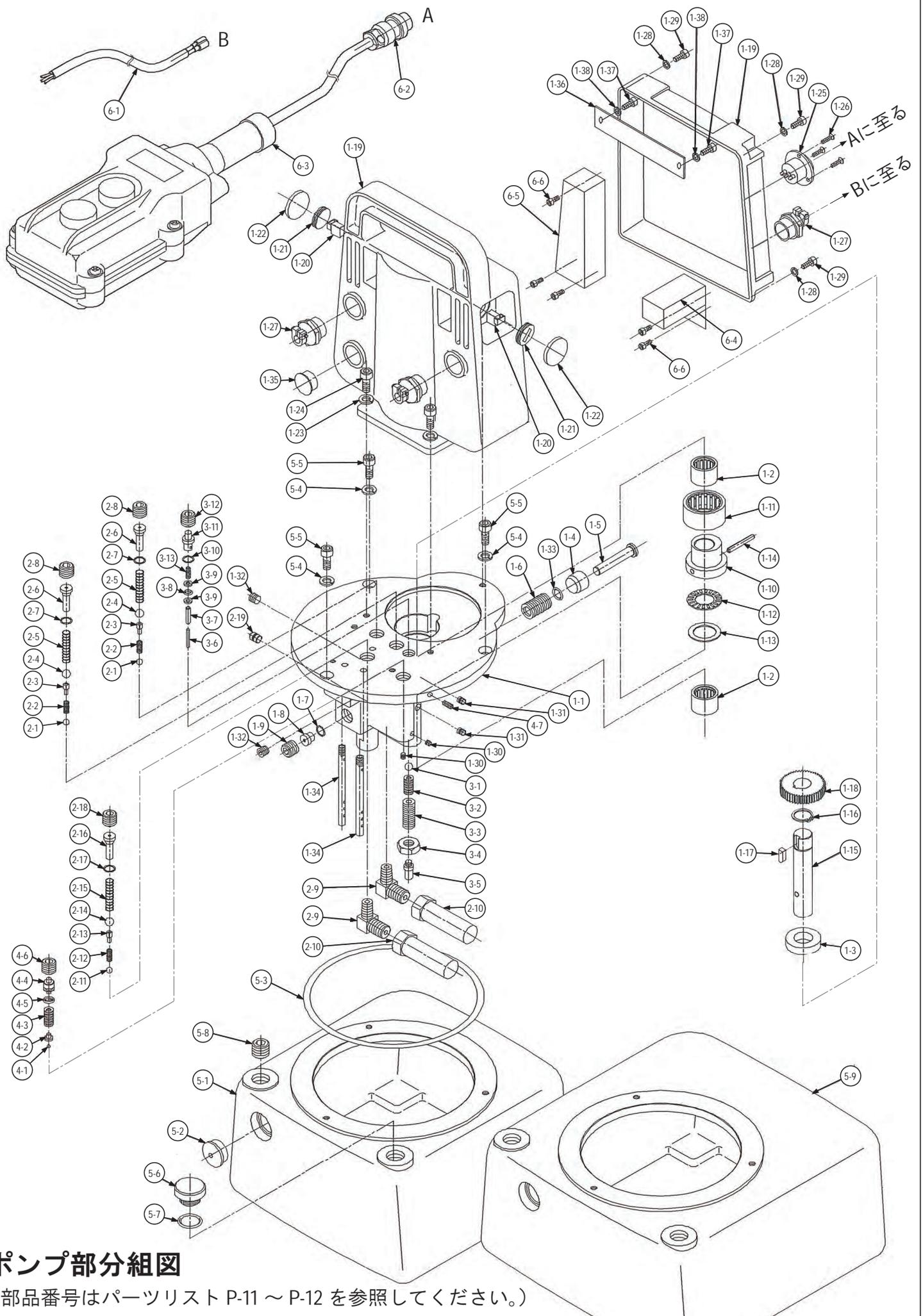
No.	部品番号	部品名
PE-1700-HWCJ-200V バルブ部分		
7-1	3P50802	マニホールド
7-2	7-1	ゲージアダプター
7-3	φ63-100MPa	油圧計
7-4	PT1/4	ブラインドプラグ
7-5	PT1/8	ブラインドプラグ
7-6	M6×40	取付ボルト
7-7	M5×40	取付ボルト
7-8	P-8	Oリング
7-9		ゲージカバー
7-10		スペーサー
7-11	M5×15	取付ボルト
7-12	3P51014	バルブボディ
7-13	PT1/16	ブラインドプラグ
7-14	M4	ワッシャー
7-15	4P53506	スプールシャフト
7-16	4P52957	スプリング
7-17	4P52516	スプリングナット
7-18	P-3	Oリング
7-19	4P52539	オーリングカラー
7-20	4P52538	ストッパーピン
7-21	φ3×10	スプリングピン
○ 7-22		プシュピン
○ 7-23		Oリング (P-15)
○ 7-24	W-22B-1700-200V	ソレノイド
7-25	P-7B	Oリング
7-26	4P52908	バックアップリング
7-27	P-8	Oリング
7-28	M8×50	取付ボルト
PE-1700-HWOJ-200V バルブ部分		
7-1	3P50802	マニホールド
7-2	7-1	ゲージアダプター
7-3	φ63-100MPa	油圧計
7-4	PT1/4	ブラインドプラグ
7-5	M6×25	取付ボルト
7-6	M5×25	取付ボルト
7-7	P-8	Oリング
7-8	4P52976	ゲージカバー
7-9	M5×5	取付ボルト
7-10	3P50803	バルブボディ
7-11	4P50821	スリーブ
7-12	P-9	バックアップリング
7-13	P-9	Oリング

No.	部品番号	部品名
7-14	P-5	バックアップリング
7-15	P-5	Oリング
7-16	4P51210	カラー
7-17	4P51083	スプリング
7-18	4P51105	スプリング受け
7-19	4P50770	ポペット
7-20	4P51080	バルブシート
7-21	P-10A	Oリング
7-22	P-10A	バックアップリング
7-23	4P52972	バルブシートリテーナー
7-24	φ3×23.8F	プシュピン1
7-25	φ4×10	スプリングピン
◎ 7-26	W-32A-1700-200V	ソレノイド
◎ 7-27		プシュピン2 (4P52973)
7-28	4P52975	ダミーカバー
7-29	P-8	Oリング
7-30	M8×50	取付ボルト
7-31	PT1/16	ブラインドプラグ
◎ 7-32		Oリング
PE-1700-VDAJ-200V / VDOJ-200V / VDRJ-200V / VDPJ-200V / VD1J-200V バルブ部分		
7-1	2P50484	マニホールド
7-2	7-1	ゲージアダプター
7-3	φ63-100MPa	油圧計
7-4	PT1/16	ブラインドプラグ
7-5	PT1/8	ブラインドプラグ
7-6	PT3/8	ブラインドプラグ
7-7	M6×45	取付ボルト
7-8	M5×45	取付ボルト
7-9	P-8	Oリング
7-10	3P50502	バルブボディ
7-11-1	4P52049	スプールシャフト(8H)
7-11-2	4P52050	スプールシャフト(8A)
7-12	W-22B	ソレノイド
7-13	4P52053	プシュピン
7-14	4P51083	スプリング
7-15	4P52051	スプリング受け
7-16	φ4×10	スプリングピン
7-17	P-15	Oリング
7-18	PT1/16	ブラインドプラグ
7-19	P-7B	Oリング
7-20	4P52908	バックアップリング
7-21	M8×35	取付ボルト

○印 7-22,7-23,7-24 ◎印 7-26,7-27,7-32 の各部品は個別に販売できません。○、◎印のセットでご購入願います。

No.	部品番号	部品名
VDPCD-10(PE1700-VDPJ-200V/ VD1J-200V)		
8-1	3P50563	チェックバルブボディ
8-2	4P54491	ピストン
8-3	P-10A	Oリング
8-4	P-10A	バックアップリング
8-5	φ3×17.8F	プシュピン
8-6	4P53489	バルブシート
8-7	P-14	Oリング
8-8	P-14	バックアップリング
8-9	4P53492	バルブシートリテーナー
8-10	φ1/4	スチールボール
8-11	WL5-10	スプリング
8-12	P-14	Oリング
8-13	P-14	バックアップリング
8-14	4P52249	リテーニングプレート
8-15	M8×15	取付ボルト
8-16	M8	スプリングワッシャ
8-17	PT1/16	ブラインドプラグ
8-18	P-7B	Oリング
8-19	4P53488	スプリング
8-20	MS3-10	パラレルピン
8-21	MS3-10	パラレルピン
8-22	4P52908	バックアップリング
8-23	M8×75	取付ボルト
VDRLW-10(PE1700-VDRJ-200V)		
9-1	3P50555	リリーフバルブボディ
9-2	4P52258	リリーフケース
9-3	S-18	Oリング
9-4	4P52259	バルブシート
9-5	4P50434	銅パッキン
9-6	4P50624	ニードルバルブ
9-7	SWB8-35	スプリング
9-8	4P52260	スプリングプシュピース
9-9	P-9	Oリング
9-10	4P52261	調節用スクリュー 1
9-11	M16P2	ロックナット 2
9-12	4P52262	調節用スクリュー 2
9-13	EK63	ハンドル
9-14	φ3×20	スプリングピン
9-15	4P52263	ロックナット 1
9-16	P-7B	Oリング
9-17	4P52908	バックアップリング
9-18	PT1/16	取付ボルト

No.	部品番号	部品名
9-19	M8×75	取付ボルト
型式別圧カスイッチ		
10-1	NPS70MPa	圧カスイッチ
10-2	PT-10	圧カスイッチ取付金具

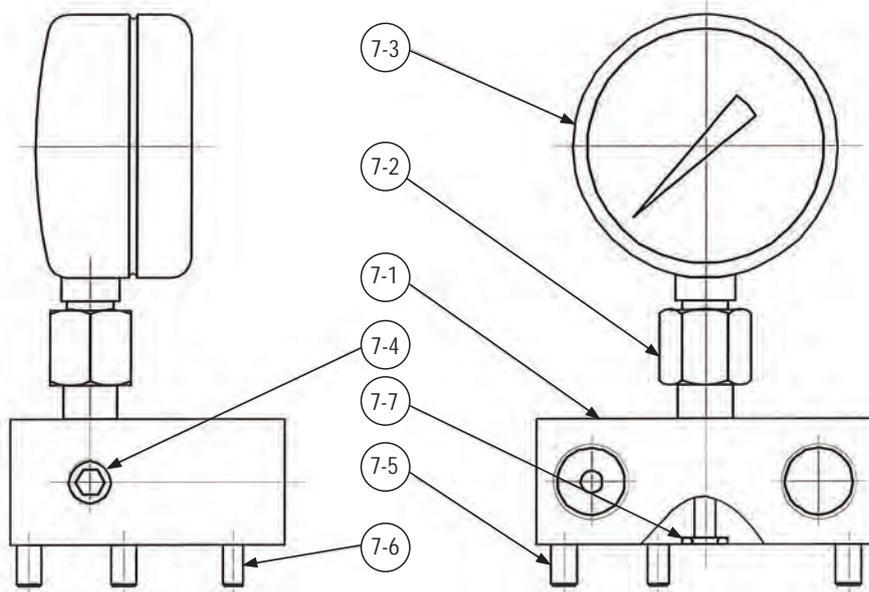


ポンプ部分組図

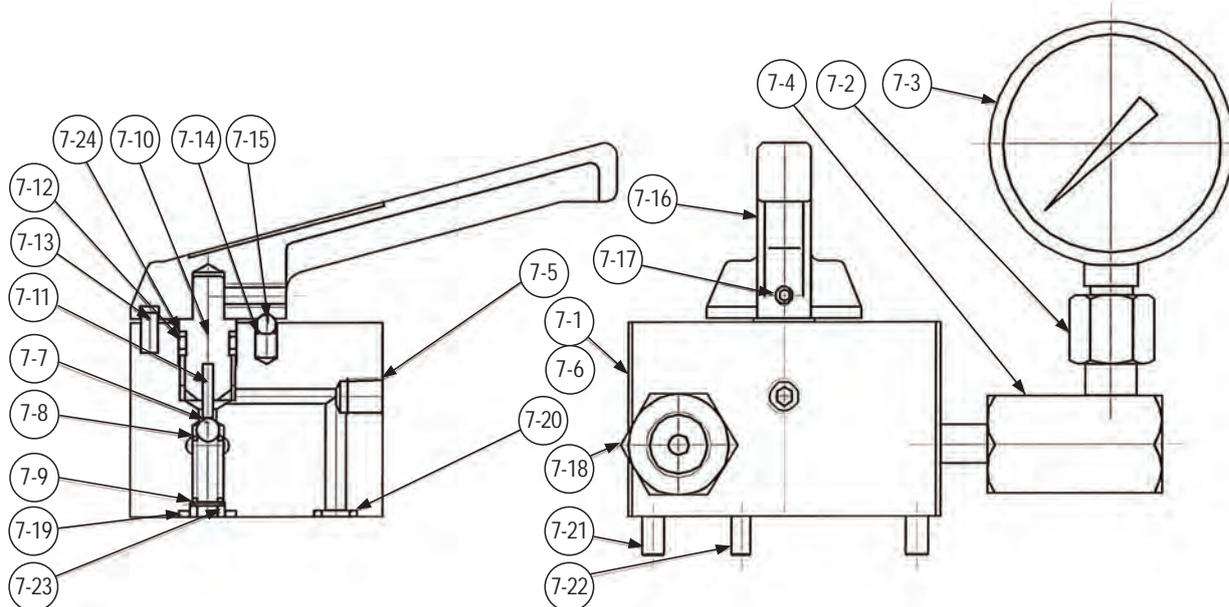
(部品番号はパーツリスト P-11 ~ P-12 を参照してください。)

■型式別バルブ部分組図

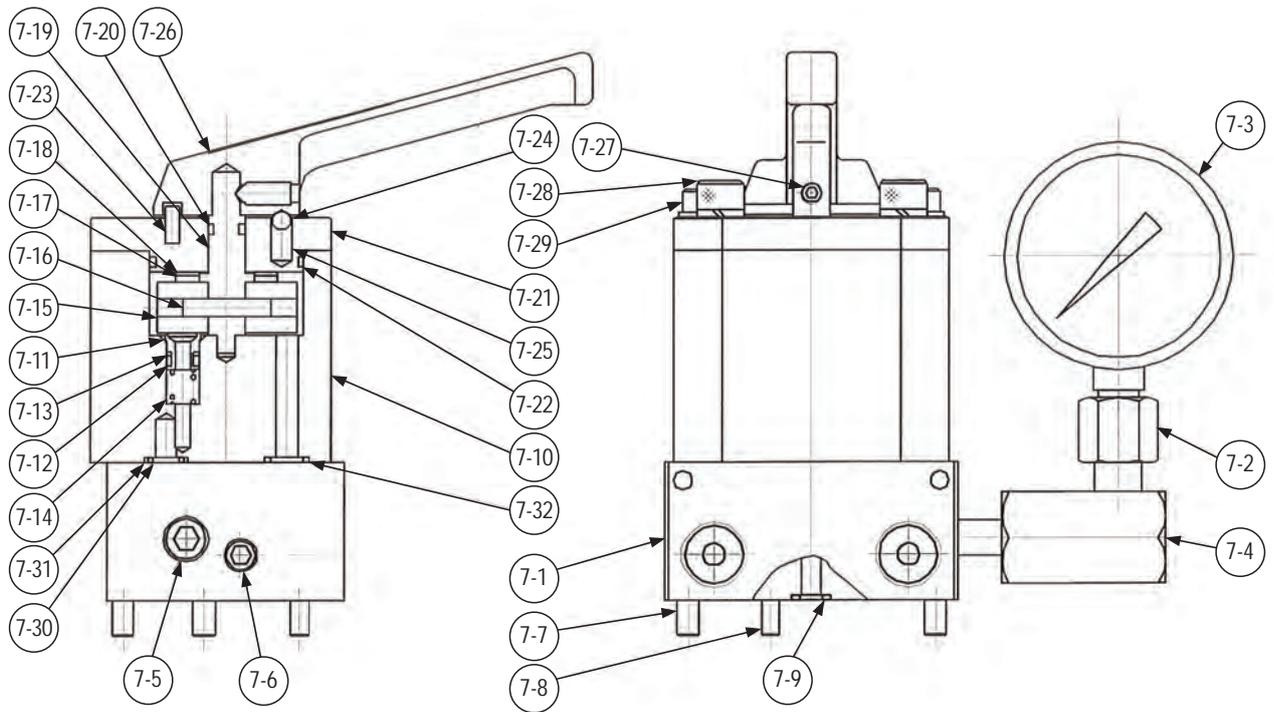
PE1700-VM1J-200V (部品番号はパーツリスト P-12 を参照してください。)



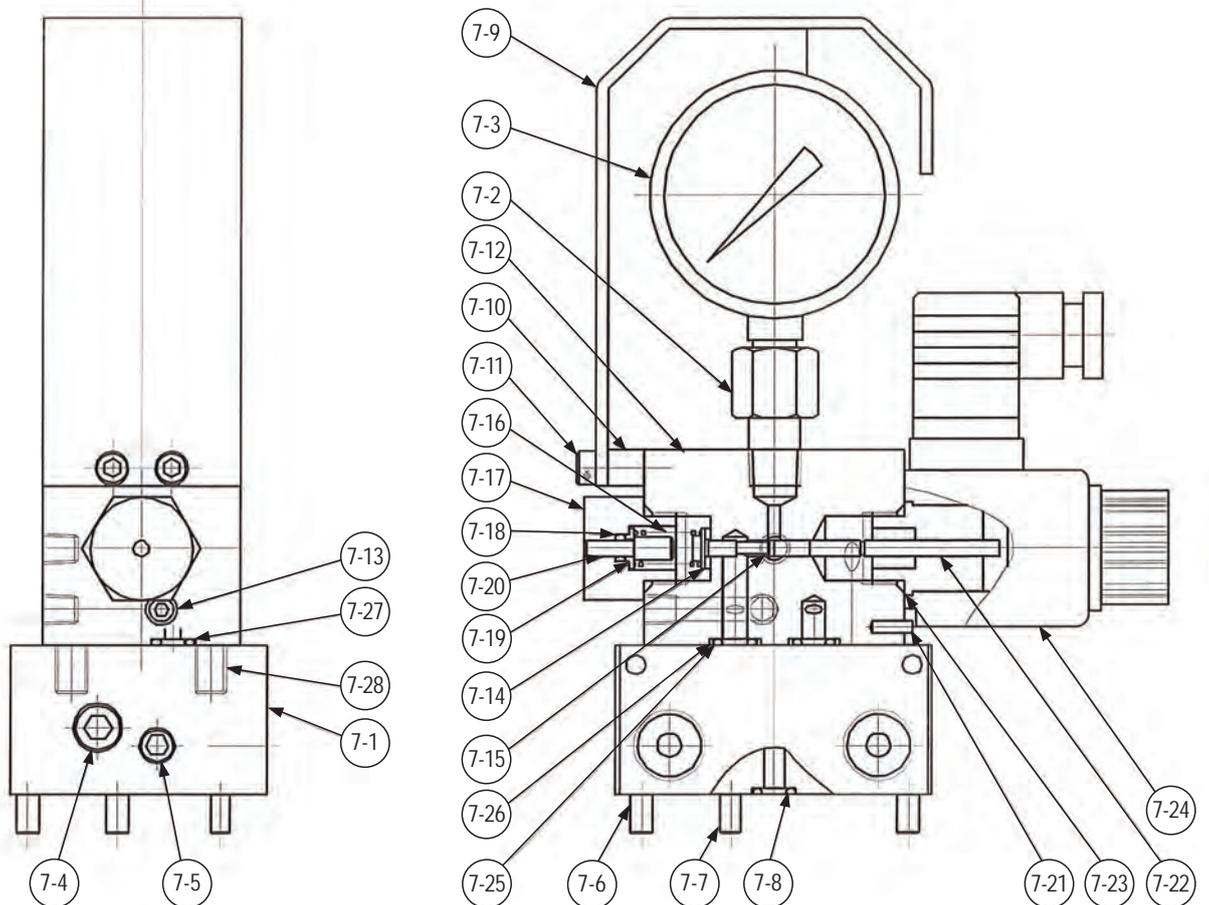
PE1700-VM2J-200V (部品番号はパーツリスト P-12 を参照してください。)



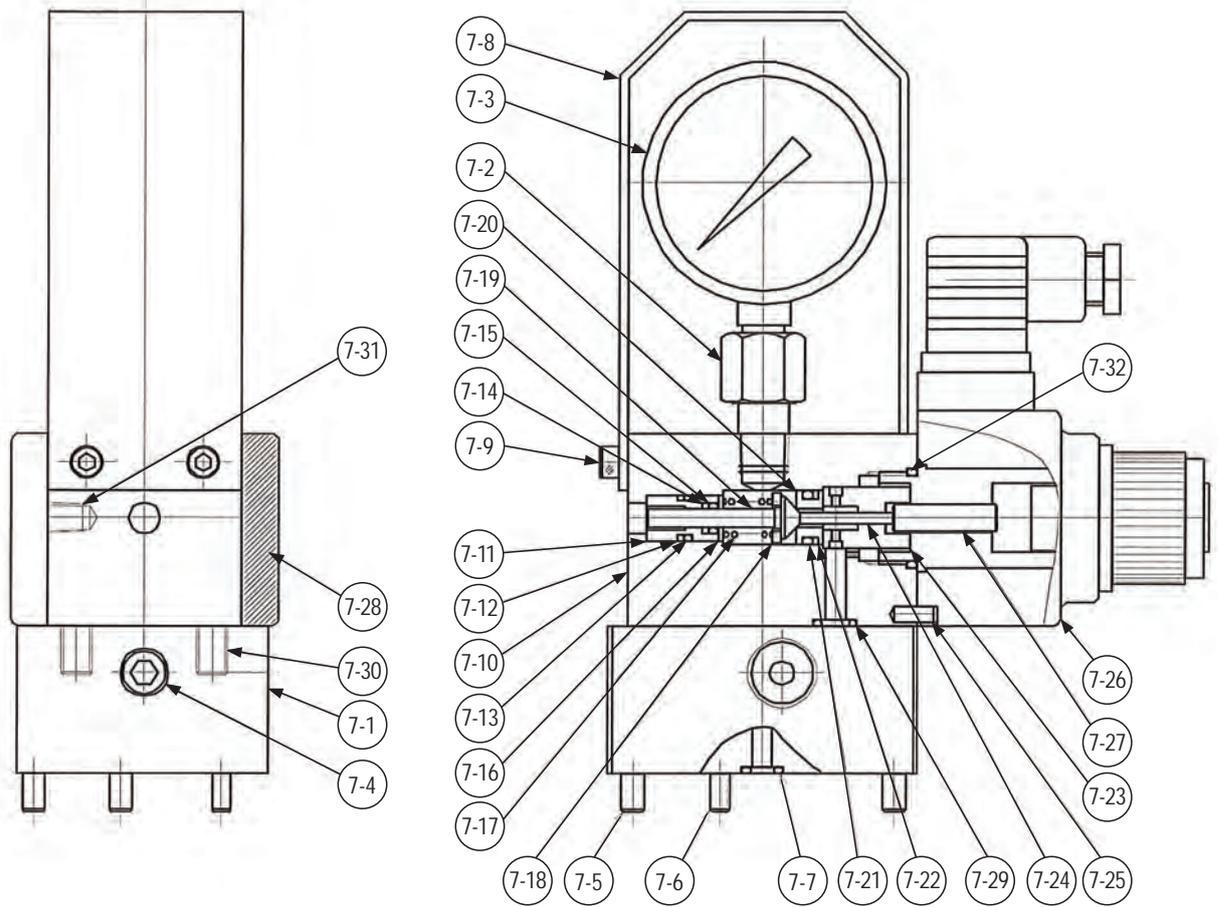
PE1700-VM4J-200V (部品番号はパーツリスト P-12 を参照してください。)



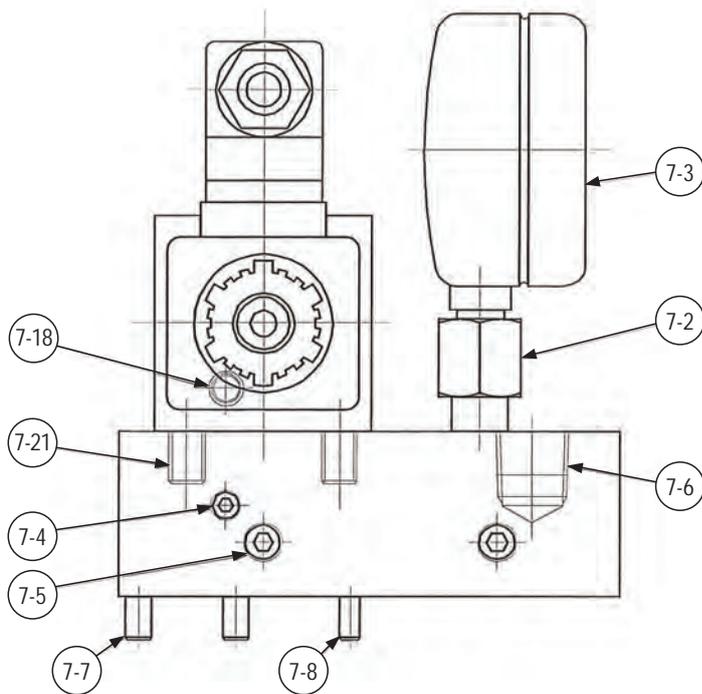
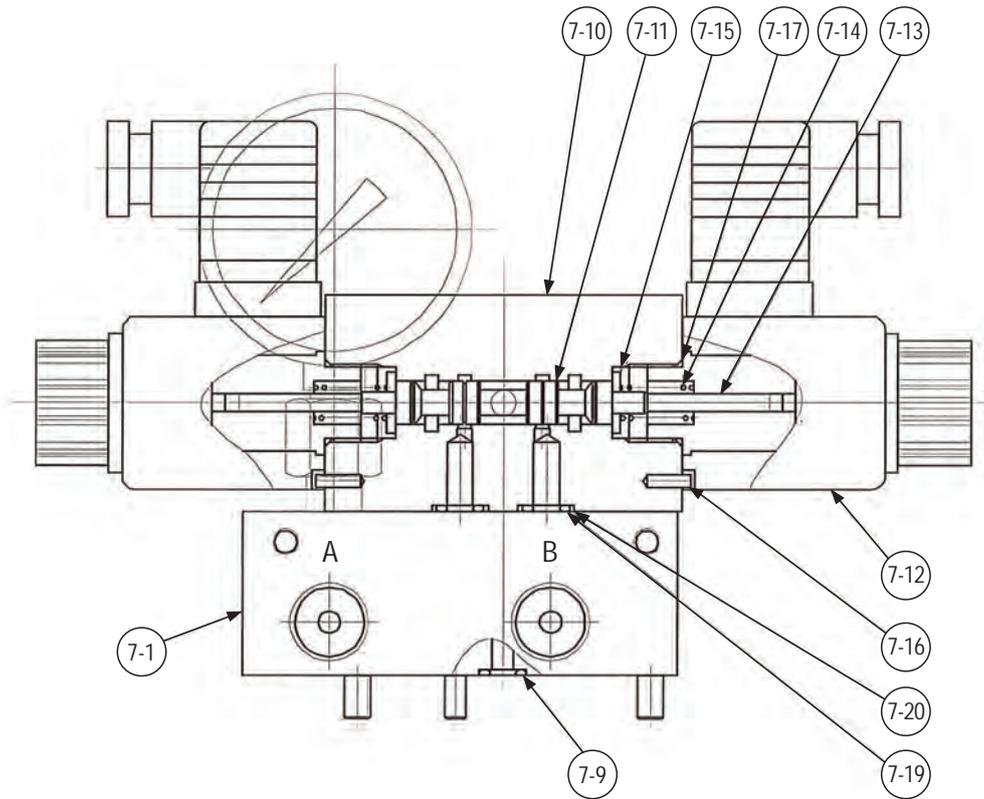
PE1700-HWCJ-200V (部品番号はパーツリスト P-13 を参照してください。)



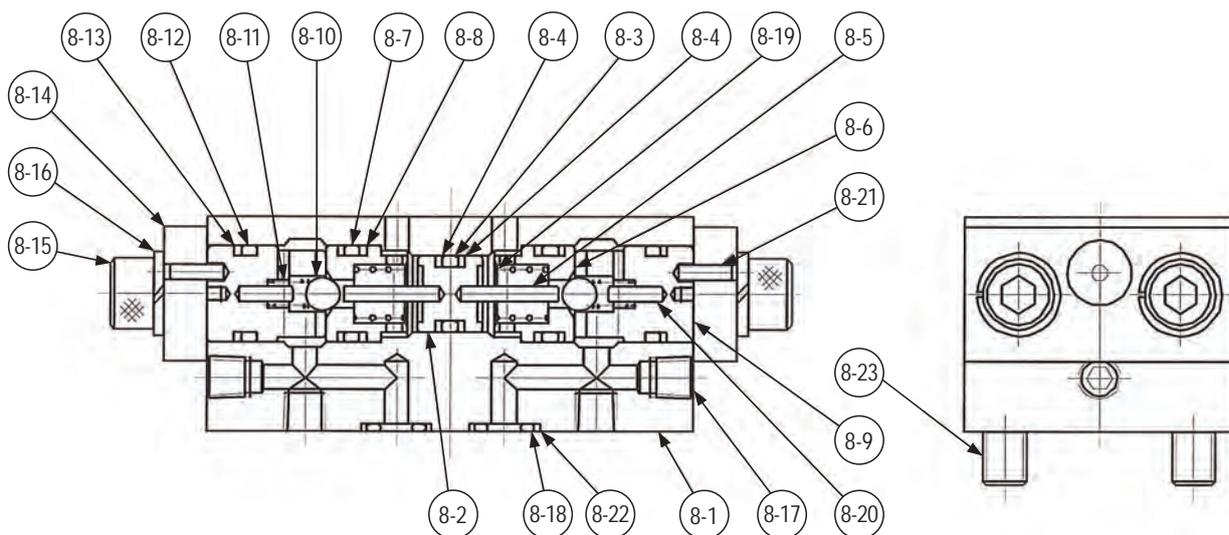
PE1700-HWOJ-200V (部品番号はパーツリスト P-13 を参照してください。)



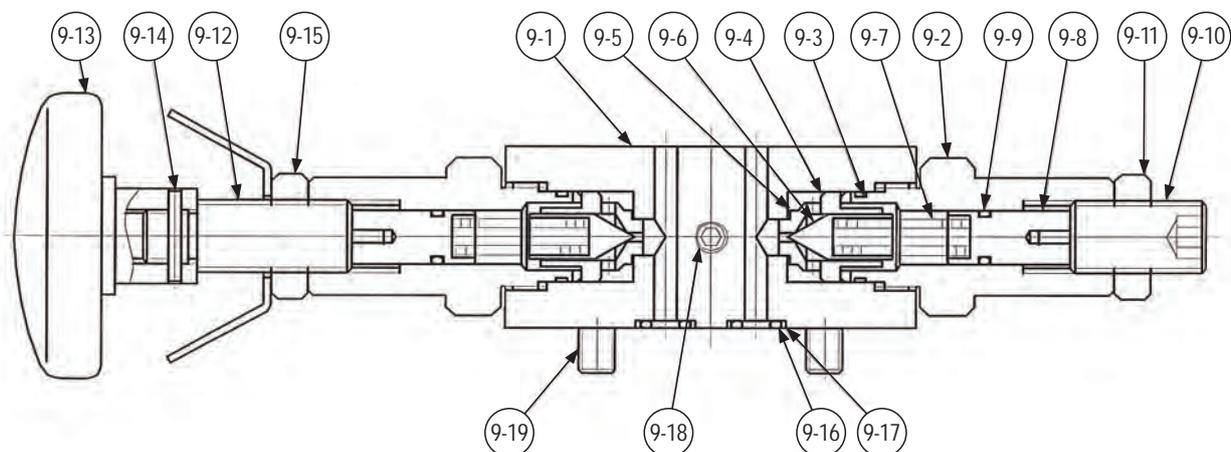
PE1700-VDAJ-200V / VDOJ-200V / VDRJ-200V / VDPJ-200V / VD1J-200V
(部品番号はパーツリスト P-13 を参照してください。)



VDPCD-10 [PE1700-VDPJ-200V / PE1700-VD1J-200V] パイロットチェックバルブ
 (部品番号はパーツリスト P-14 を参照してください。)

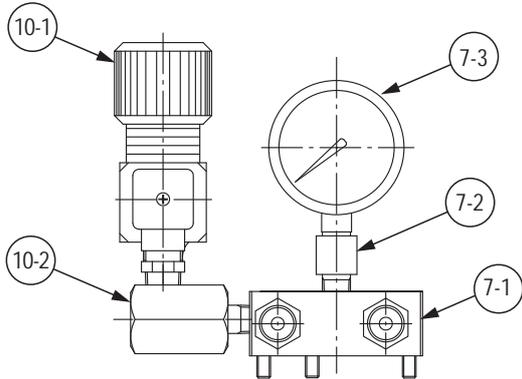


VDRLW-10 [PE1700-VDRJ-200V] ダブルリリーフバルブ
 (部品番号はパーツリスト P-14 を参照してください。)

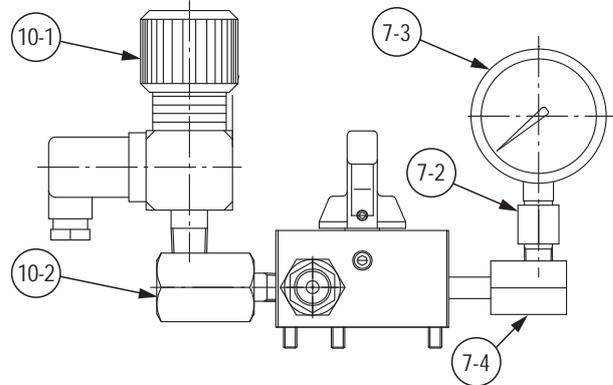


型式別圧カスイッチ/圧力計 パーツリスト

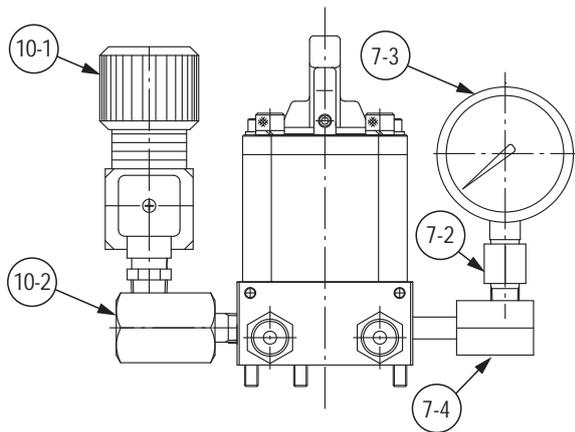
PE1700-VM1J-200V



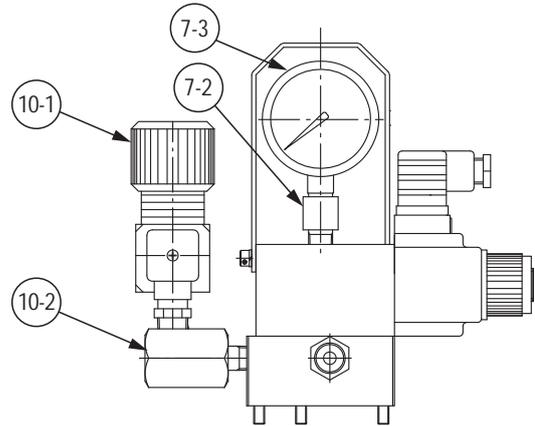
PE1700-VM2J-200V



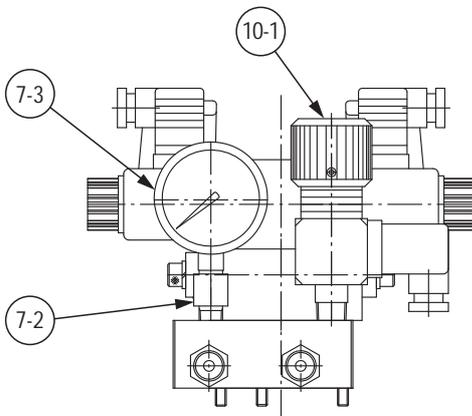
PE1700-VM4J-200V



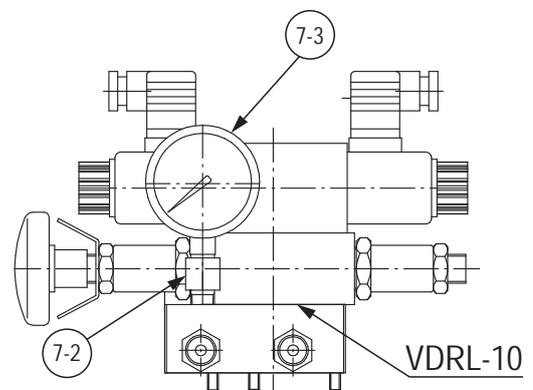
PE1700-HWOJ-200V



PE1700-VDPJ-200V
PE1700-VD1J-200V



PE1700-VDRJ-200V



8. 故障診断表

状 態	原 因	対 策
モーターが廻らない	電源の電流が流れていない	電源の確認
	結線の不良	交換
	操作スイッチの故障	交換
	操作コードの断線	交換
	カーボンブラシの摩耗又は接触不良交換	交換
	モーターの焼損	修理又は交換
モーターの音が異常	ポンプ又はモーターの故障	修理又は交換
	ベアリング関係の損傷	修理又は交換
モーターは回転するが シリンダーが作動しない	電磁弁の故障	修理又は交換
	オイル不足	オイルを補充
	給油栓の開け忘れ	栓を開にする
	ポンプ、シリンダー内へ空気の混入	空気抜きをする
	サクシヨンストレーナーの目づまり	ストレーナーの洗浄
	ポンプ本体の故障	修理
シリンダーは作動するが 圧力が出ない	リリーフ弁の故障	修理及び調整
	電磁弁の故障	修理又は交換
	ポンプに空気が混入	空気抜きをする
	ポンプ本体の故障	修理
シリンダーは作動するが スピードが遅い	リリーフ弁の設定圧力の低下又は故障	設定圧力の調整又は修理
	電磁弁の故障	修理又は交換
	ポンプに空気が混入	空気抜きをする
	オイル温度の上昇	冷却する (55℃以下)
シリンダーが戻らない	ポンプ本体の故障	修理
	電磁弁の故障	修理又は交換
	シリンダーのスプリング不良又はカプラー不良	修理又は交換
油漏れ	電磁弁操作用スイッチの接点不良	修理又は交換
	各部シール不良	締付又はパッキンの交換
漏電	コードの損傷	交換
	電気部品の絶縁不良	不良部品の交換修理

●シリンダーの故障も考えられますので、お調べ下さい。

9. 保証

9-1 保証の範囲

保証の範囲は日本国内で購入され、日本国内で使用した場合に限ります。

9-2 保証期間

ご購入日より1年間

9-3 保証事項

通常のご使用で当社の責任に起因する材料、製造上の欠陥が上記保証期間内に発生した場合は、出張修理には対応しておりませんので、商品を弊社に戻して頂いて調査確認後に、無償修理または新品と交換を致します。原則的に調査報告書もお受け致しておりません。また、欠陥や故障に付随して発生する二次的損害および製品の取外し、取付けに関するなどの附帯費用に関して、当社は一切の保証および責任を負いませんのでご了承ください。

9-4 保証適用除外事項

1. 製品の誤った選定、誤ったシステムの下で生じた事故、それに伴う他の損害が発生した場合。
2. 当社に相談了解なく変更や、改造された場合。
3. 過酷な使用による消耗部品の損傷や磨耗による場合。
4. 当社製品が、装置や設備等に組み込まれた事故に対する損害。
5. 当社製品の故障によって誘発される損害。
6. 自然災害による損害。

9-5 特記事項

1. 海外で購入された場合は有償修理になります。
2. カタログ標準品を輸出された場合は、海外の当社グループ会社が有償修理致します。
3. 特注品を輸出する場合は、事前にアフターサービスについての契約がされていないと、現地修理を受け付けないことがあります。

Enerpac Worldwide Locations

Australia and New Zealand

Actuant Australia Ltd.
Tel: +61 297 438 988 – Fax: +61 297 438 648

Brazil

Power Packer do Brasil Ltda.
Tel: +55 11 5687 2211 – Fax: +55 11 5686 5583
Toll Free: 0800 891 5770

China

Actuant (China) Industries Co., Ltd.
Toll Free: +86 400 885 0369
Tel: +86 0512 5328 7500 – Fax: +86 0512 5335 9690

France, Switzerland, North Africa and French speaking African countries

ENERPAC
Une division d' ACTUANT France S.A.S.
Tel: +33 1 60 13 68 68 – Fax: +33 1 69 20 37 50

Germany and Austria

ENERPAC GmbH
Tel: +49 211 471 490 – Fax: +49 211 471 49 28

India

Enerpac Hydraulics (India) Pvt.Ltd.
Tel: **+91 80 3928 9000**

Italy

ENERPAC S.p.A.
Tel: +39 02 4861 111 – Fax: +39 02 4860 1288

Japan

Enerpac Co., Ltd
Tel: +81 48 662 4911 – Fax: +81 48 662 4955

Middle East, Egypt and Libya

ENERPAC Middle East FZE
Tel: **+971 4 8872686 - Fax: +971 4 8872687**

Russia

Rep. office Enerpac
Tel: +7 495 98090 91 – Fax: +7 495 98090 92

Southeast Asia, Hong Kong and Taiwan

Actuant Asia Pte Ltd.
Tel: **+65 68 63 0611 - Fax: +65 64 84 5669**
Toll Free: **+1800 363 7722**

South Korea

Actuant Korea Ltd.
Tel: +82 31 434 4506 – Fax: +82 31 434 4507

Spain and Portugal

ENERPAC SPAIN, S.L.
Tel: +34 91 884 86 06 – Fax: +34 91 884 86 11

Sweden, Denmark, Norway, Finland and Iceland

Enerpac Scandinavia AB
Tel: **+46 (0) 771 415000**

The Netherlands, Belgium, Luxembourg, Central and Eastern Europe, Baltic States, Greece, Turkey and CIS countries

ENERPAC B.V.
Tel: +31 318 535 911 – Fax: +31 318 535 848

Enerpac Integrated Solutions B.V.

Tel: +31 74 242 20 45 – Fax: +31 74 243 03 38

South Africa and other English speaking African countries

ENERPAC Africa (PTY) Ltd.
Tel: **0027 (0) 12 940 0656**

United Kingdom and Ireland

ENERPAC Ltd.
Tel: **+44 1670 5016 50 - Fax: +44 1670 5016 51**

USA, Latin America and Caribbean

ENERPAC
Tel: +1 262 293 1600 – Fax: +1 262 293 7036

User inquiries: +1 800 433 2766

Distributor inquiries/orders:

Tel: +1 800 558 0530 – Fax: +1 800 628 0490

e-mail: info@enerpac.com

internet: www.enerpac.com

Japan Web サイト

エナパック株式会社

カスタマーサービス部

埼玉県さいたま市北区别所町85-7 〒331-0821

TEL.048-662-4911(代表) FAX.048-662-4955

<http://www.enerpac.co.jp>

お問い合わせ・ご用命は

●この取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。